取扱説明書 お客様用　1～7ページ
据付説明書 販売店（工事店）様用　8ページ～裏表紙

KPS

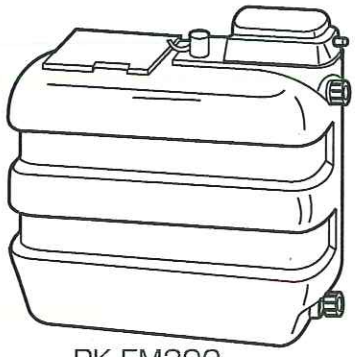
水道加圧装置（水槽）

品番 PK-EM200,PK-C300
PK-EM500,PK-EM1000

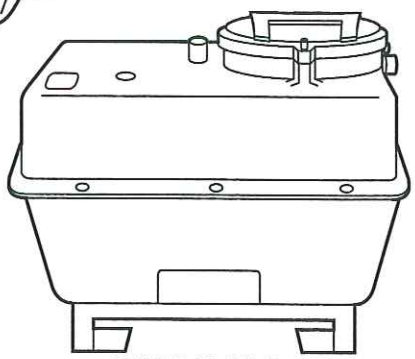
お買い上げまことにありがとうございます。

- 「保証書」を受けとっていることを必ず確認してください。
- この「取扱説明書」と添付の「保証書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
  お読みになった後は、いつでも取り出せるところに「保証書」とともに大切に保管してください。
- 特に1～2ページの「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この商品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。

This appliance is designed for domestic use in Japan only and cannot be used in any other country.



PK-EM200



PK-EM1000

もくじ

取扱説明書“お客様用”

ページ

■安全上のご注意 ---------- 1～2
■各部のなまえ ---------- 3～4
■ご使用方法 ---------- 5
■効果的な使いかた ---------- 5
■お手入れのしかた ---------- 6
■故障かな？と思ったときは ---------- 6
■アフターサービスについて ---------- 7

据付説明書“販売店（工事店）様用”

ページ

■工事をされる方へのお願い ---------- 8
■付属部品 ---------- 9
■据えつけ工事について ---------- 9
■据えつけ手順 ---------- 10～14
　●配線図 ---------- 14
　●アース線の接続について ---------- 14
■凍結防止について ---------- 14
■仕様 ---------- 裏表紙
　●水槽とポンプの組み合わせ一覧表-- 裏表紙
■お客様への引渡し ---------- 裏表紙

- この取扱説明書は水槽の取り扱い説明を主に行っております。
  ポンプに付属の取扱説明書と合わせてご覧になり、正しくお使いください。
- この水槽は水道加圧装置用の水槽ですので、単独ではご使用になれません。
  裏表紙の水槽とポンプの組み合わせ一覧表をご覧になり、ポンプの選定を行って、ポンプとセットでお使いください。

- 据えつけはお買い上げの販売店または工事店に依頼してください。
- ご購入水槽の品番確認は水槽に貼りつけの銘板表示をご覧ください。

上手に使って上手に節電

取扱説明書　（お客様用）　1～7ページ

安全上のご注意

※ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

※ここに示した注意事項は、商品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」・「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

⚠注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

絵表示の例

△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。

分解禁止

⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

プラグを抜く

●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになったあとは、お使いになる方が、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警告

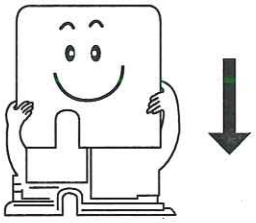
分解禁止

改造しないでください。
修理技術者以外の人は絶対に、分解したり修理をしないでください。

※発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

禁　止

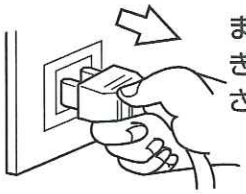
ポンプカバー(保護カバー)をはずしたまま使用しないでください。



※ほこりや絶縁劣化などで感電や火災の恐れがあります。

プラグを抜く

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜くか、または電源を切ってください。



また、ぬれた手で抜き差ししないでください。

※感電やけがをすることがあります。

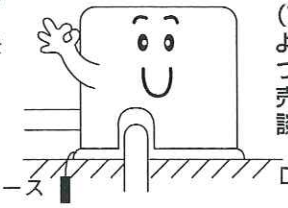
強　制

電源プラグは、刃および刃の取りつけ面にほこりが付着している場合はよく拭いてください。

※火災の原因になります。

アース線を接続する

アース線を確実に取りつけ、専用の漏電遮断器を設置してください。



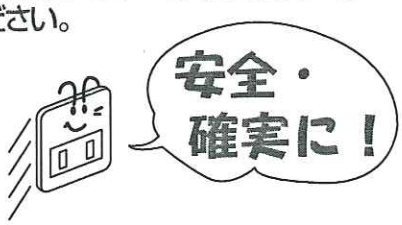
（アース線の取りつけおよび漏電遮断器の取りつけはお買い上げの販売店<工事店>にご相談ください。）

D種接地工事

※故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

強　制

配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行ってください。



※誤った配線工事は、感電や火災の恐れがあります。

安全上のご注意

⚠ 警告

プラグを抜く

動かなくなったり、異常がある場合は、事故防止のため、すぐに電源プラグを抜くか、または電源を切ってお買い上げの販売店(工事店)に必ず点検・修理をご依頼ください。

※感電や漏電・ショートなどによる火災の恐れがあります。

禁止

電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりしないでください。

※電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

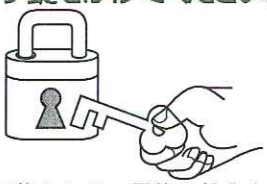
禁止

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。

※火災・感電の原因になります。
販売店（工事店）に修理を依頼してください。

強制

水槽の掃除終了後は、水槽の施錠金具に必ず錠をかけてください。

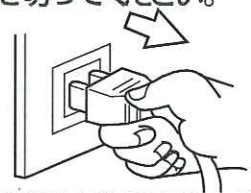


※お子様が水槽の中に落ちたり、異物の投入など、不測の事態が発生し、事故の原因となります。

⚠ 注意

プラグを抜く

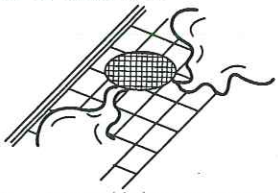
長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、または電源を切ってください。



※絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

強制

床面が防水処理・排水処理されているか確認してください。



※水漏れが起きた場合、大きな被害につながる恐れがあります。

禁止

空運転(水槽およびポンプに水のない状態での運転)はしないでください。

（ご使用方法、5ページを参照ください）

※ポンプの故障の原因になります。

禁止

ポンプに毛布や布などをかぶせたり、ポンプカバー(保護カバー)内に燃えやすいものを入れないでください。

※過熱して発火したり、故障の原因になります。

接触禁止

ポンプやモータ、保温用ヒータに触れないでください。

※高温になっていますのでやけどの原因になります。

強制

据えつけ工事はお買い上げの販売店または工事店に依頼してください。

※ご自分で据えつけ工事をされ、不備があると水漏れや感電、火災の原因になります。

禁止

製品の上に物を載せたり、人が乗ったりしないでください。

※変形・破損によりけがをする恐れがあります。

禁止

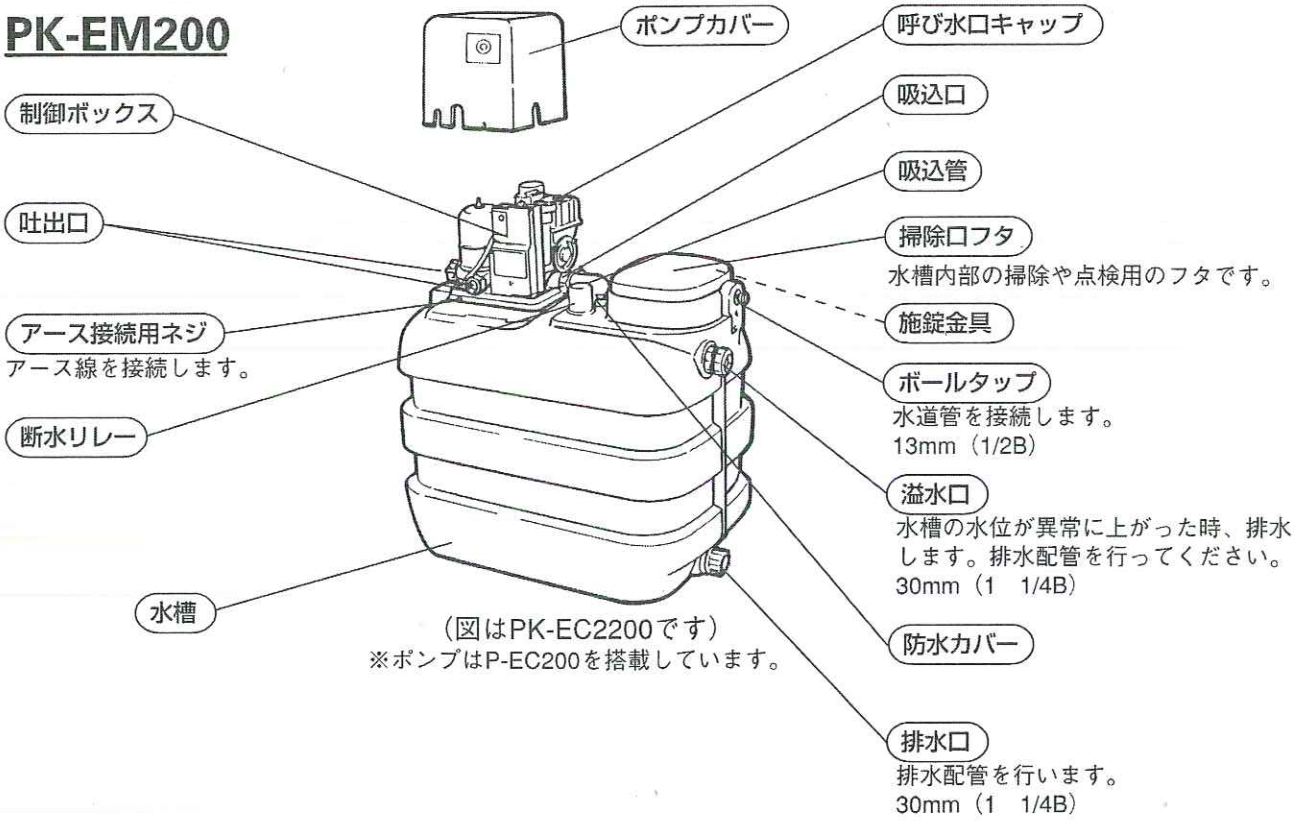
この水槽およびポンプは水以外の液体には使用しないでください。

※特に灯油などは爆発の恐れがあります。

各部のなまえ

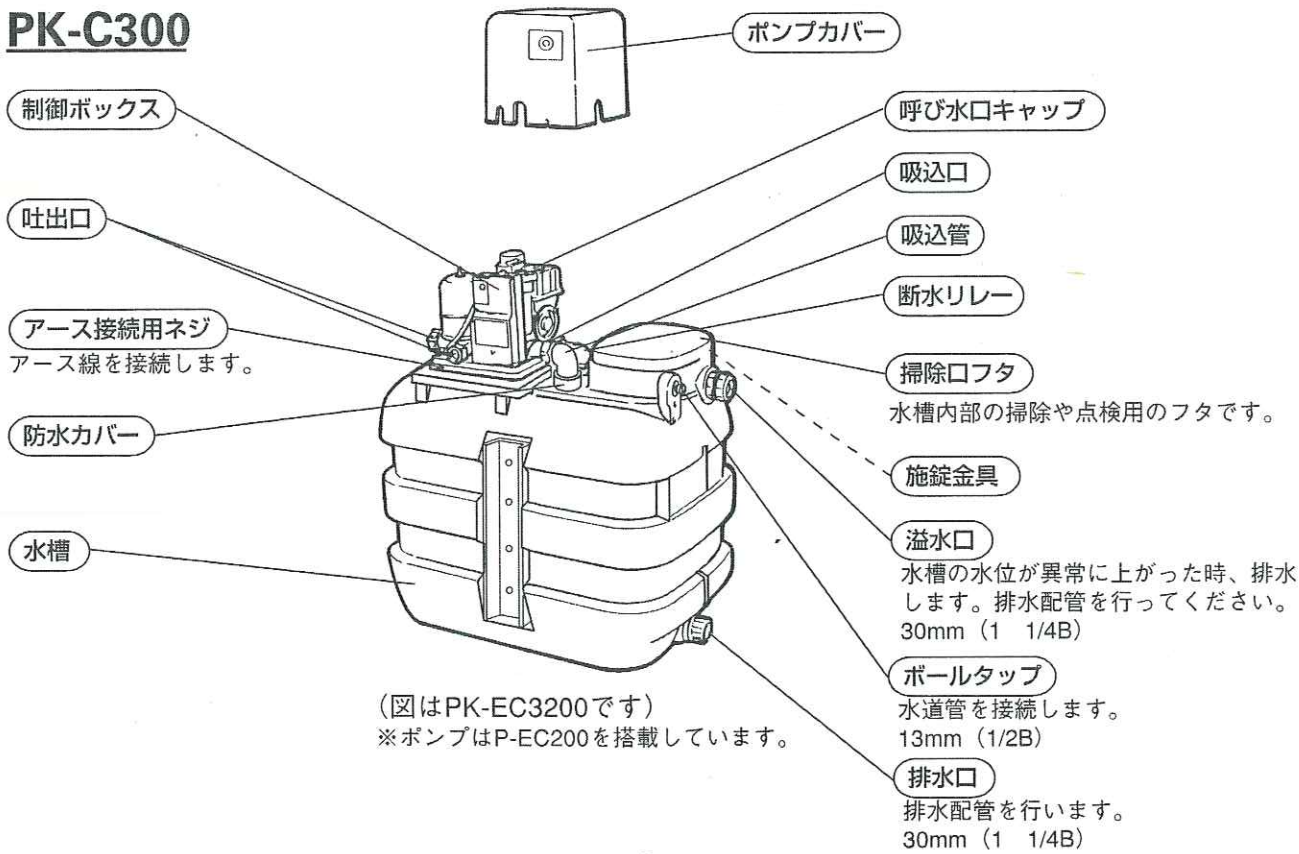
● お使いになる水槽とポンプの組み合わせにより、水道加圧装置の品番がきまります。裏表紙の水槽とポンプの組み合わせ一覧表をご覧になり、お使いになる水道加圧装置の品番をご確認ください。
図はポンプを水槽に搭載した状態のものです。

PK-EM200



（図はPK-EC2200です）
※ポンプはP-EC200を搭載しています。

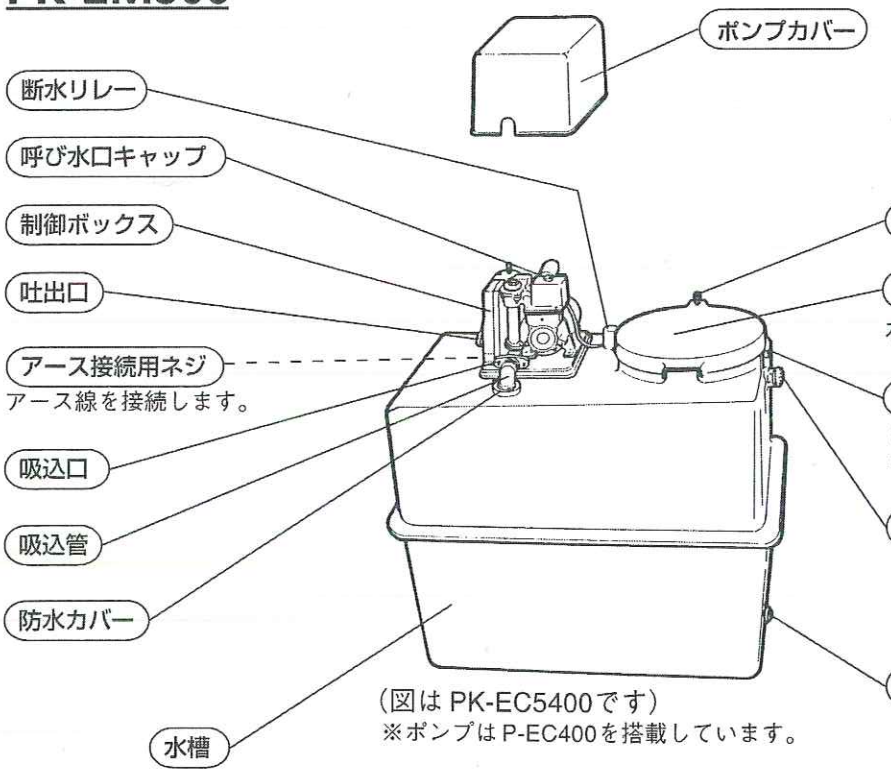
PK-C300



（図はPK-EC3200です）
※ポンプはP-EC200を搭載しています。

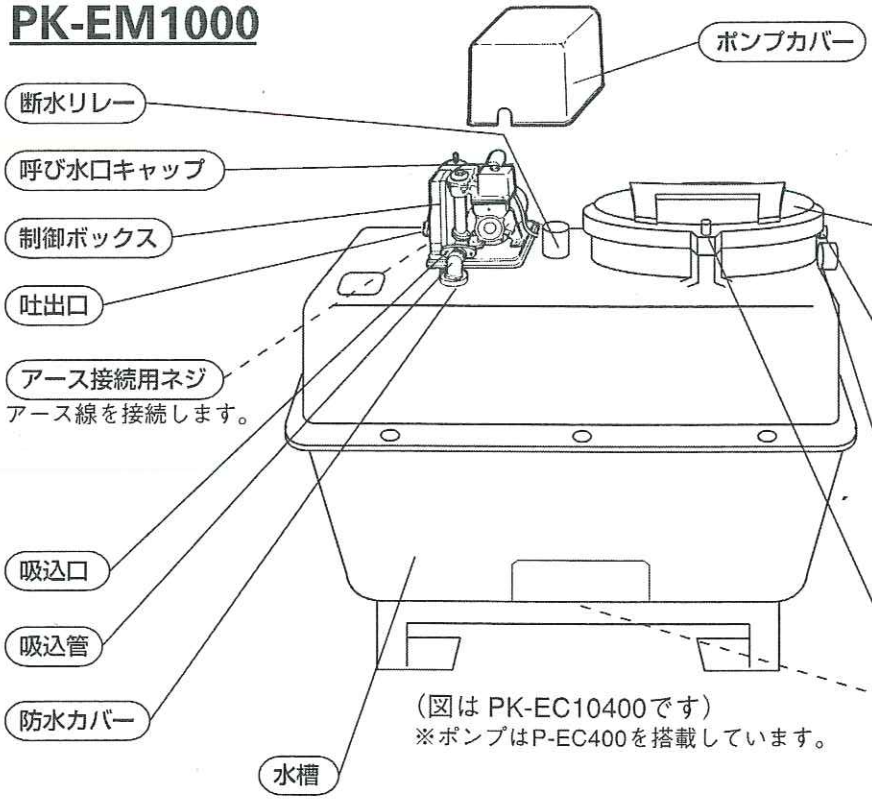
各部のなまえ

PK-EM500



（図は PK-EC5400です）
※ポンプはP-EC400を搭載しています。

PK-EM1000



（図は PK-EC10400です）
※ポンプはP-EC400を搭載しています。

ご使用方法

設置と試運転は販売店または工事店が行ないますので、お客様は水栓を開くだけで、ご使用いただけますが、下記の運転方法を知っておかれますと後々お役にたちます。

運転方法

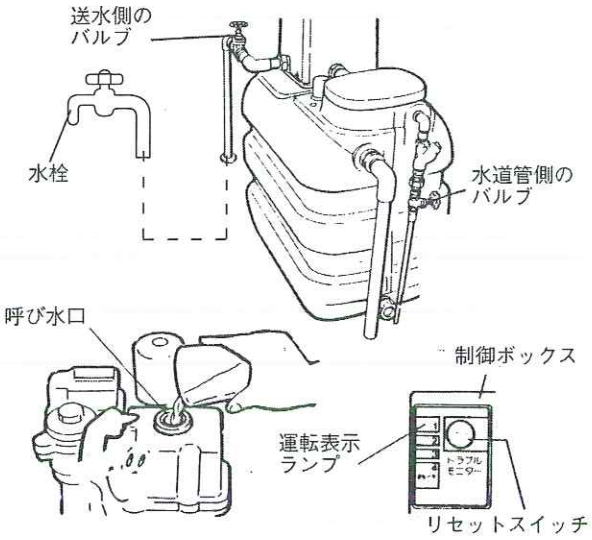
1. 水道管側のバルブを反時計方向に回して開き、水槽に水を入れます。
2. 送水側のバルブおよび水栓を開いてください。
3. 呼び水口キャップを反時計方向へ回し、取りはずします。
4. 呼び水口へ水を一杯になるまで約400cc流し込みます。
   （モータや電気回路に水がかからないようご注意ください）
5. 呼び水口キャップを元通りにしっかりと取りつけてください。
6. 電源プラグをコンセントに差込んでください。

● 運転表示ランプの表示①が点滅し、2分以内で揚水します。

● 揚水しますと運転表示ランプの表示①は点灯に変わります。

● 通電してから２分以内に揚水しない場合は呼び水が不足しているためですから、電源を切り、再び呼び水をしてください。

7. 水栓より水が出たら水栓を閉めてください。



ご注意

● 呼び水を入れずに運転しないでください。
試運転時、または空運転時に「ゴゴゴー」と音が発生することがありますが、異常ではありません。
ポンプ部はインペラフリー方式ですので、揚水すると音がでなくなります。

● ボールタップで水が自動的に止まることを必ず確認してください。

断水リレーについて

水槽内の水が少なくなりますと断水リレーが作動してポンプの空運転を防止します。

● 断水リレーは自動復帰式ですので、水槽内に水がたまると自動的に運転を開始します。

● 断水リレーが作動した場合は、しばらくの間、水の使用をやめ、水槽内の水位がほぼ中央まで回復するのをお待ちください。

⚠ 注 意

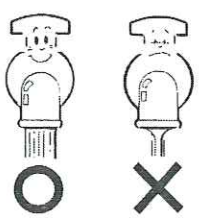
空運転（ポンプに水のない状態での運転）はしないでください。

※ポンプの故障の原因になります。

効果的な使いかた

1．水栓はなるべく全開の状態でお使いください。

● 消費電力が少なくてすみ経済的です。



2．給湯器などでお湯をご使用の際には毎分約４Ｌ以上の水量でお使いください。

● 湯温の変動がなく、特にシャワーなどは快適にご使用いただけます。

● 毎分約４Ｌ以下でお使いになりますと水圧が不安定になります。

3．使い終わったら、水栓は完全に閉じてください。

● 水栓から水漏れがありますとポンプが「運転」「停止」を繰り返します。

お手入れのしかた

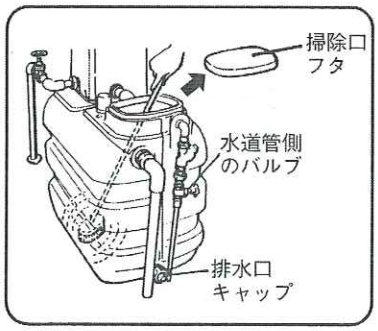
1 水槽内を掃除するには

ご使用中にゴミや異物が水槽内に沈殿した場合は下記要領で掃除してください。

① 水道管側のバルブを時計方向に回し、閉じます。

② 掃除口フタを開け、長い柄のついたブラシで水槽内を掃除し、排水口キャップを反時計方向に回して取りはずし（排水配管している場合はバルブを開ける）水を抜きます。

③ 排水口キャップ（またバルブ）を元通り締めます。



2 ボールタップの凍結防止

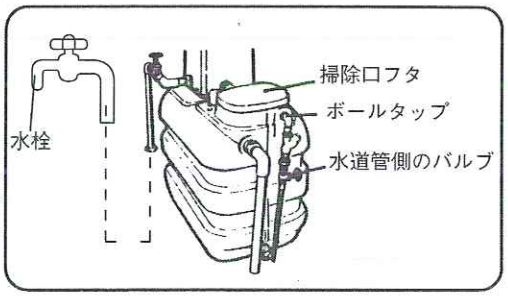
特に寒い地方では冬期にボールタップの凍結を防止するため下記要領で、ボールタップ内の水を抜いてください。

① 水道管側のバルブを閉めます。

② 水栓より水を出し、水槽内の水がボールタップの球から離れることを確認します。

③ 水を出したら水栓を閉めます。

④ 再び使用されるときは水道管側のバルブを開きます。



3 水を 2 日以上使用しない場合は必ず水槽内の水を入れ替えてください。

（古い水は風呂や雑用水等にご使用ください）

水の入れ替え手順

① 水道管側のバルブを閉めます。

② 水栓を開き水槽内の水を、風呂・洗濯用などの雑用水に使用します。

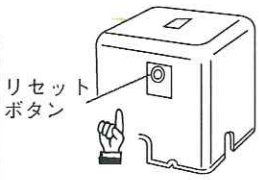
③ 水栓を閉め、水道管側のバルブを開いて水槽に水を溜めます。

故障かな？と思ったときは

☞ 修理を依頼される前に

水が出ない、ポンプがひんぱんに回るなど故障かな？と思われましたら、修理を依頼される前に次の点検をしてください。

- 電源プラグがコンセントにしっかりと差し込まれていますか？
- 電源ブレーカー、漏電遮断器が作動していませんか？
- ポンプを毛布や断熱材等で過剰に保温していませんか？
- 配管、水栓から水漏れしていませんか？
- 水洗トイレ、温水ソーラー器などのボールタップから水漏れしていませんか？



点検された後、吐出側の水栓を1カ所開き、1～2度リセットボタン（リセットスイッチ）を強く押してください。
もし、一時的な不具合（低電圧、水位低下、異物かみ、ポンプ異常高温など）で停止していた場合には、リセットで正常に運転します。（※コンパクトポンプの場合）

運転表示ランプの③または④が点灯したり、異常音や異常運転をするようであれば、運転を繰り返さずにすぐに電源を切り、ポンプの取扱説明書の故障診断表を参照の上、お買い上げの販売店（工事店）にご連絡ください。（※コンパクトポンプの場合）

⚠ 警 告

動かなくなったり、異常がある場合は、事故防止のため、すぐに電源プラグを抜くか、または電源を切ってお買い上げの販売店（工事店）に必ず点検・修理をご依頼ください。

※感電や漏電・ショートなどによる火災の恐れがあります。

アフターサービスについて

1.保証書

●この商品には保証書がついています。

保証書は別に添付しております。販売店（工事店）から受け取っていただき必ず「販売店名・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

2.修理を依頼されるとき

●保証期間中の修理

保証期間はお買い上げ日より１年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店（工事店）が修理いたします。くわしくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎているときは

修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。くわしくは、お買い上げ販売店（工事店）にご相談ください。

●修理点検でポンプ以外に原因があった場合は保証期間内でも有料になることがあります。

3.補修用性能部品の保有期間

ポンプの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後８年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

4.アフターサービスについてご不明の場合

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店（工事店）へお問い合わせください。

また、ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にお問い合わせください。

お客さまご相談窓口

■まずはお買い上げの販売店へ・・・

製品の修理及び部品のご依頼やご相談は、お買い上げの販売店へお申し出ください。
転居や贈答品でお困りの場合は、下記の相談窓口にお問い合わせください。

アフターサービス相談窓口

◆フリーダイヤル **0120-388-365** 携帯電話からも通話可能です。

◆お問い合わせ時間 365日9:00～19:00受付け致します。
JBR［ジャパンベストレスキューシステム（株）］が代行致します。

ポンプの技術相談窓口

◆フリーダイヤル **0120-340-841** 携帯電話からも通話可能です。

◆お問い合わせ時間　平日（月曜日～金曜日）8:30～12:00、13:00～17:00　土日祝日及びゴールデンウイーク・年末年始・夏期休暇等の当社指定休日は休ませていただきます。

⚠安全に関するご注意

●ご使用の前に必ず「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

●消費電力が１kW以上の機器は、定格15A以上の電源コンセントに直接接続してお使いください。火災の原因となります。●アースを確実に取り付け、専用の漏電遮断器を設置してください。故障や漏電のときに感電する恐れがあります。アースの取り付けは販売店にご相談ください。●電気配線、配線工事は電気設備技術基準や内線規定に従って安全・確実に行って下さい。●用途にあった商品をお選びください。不適切な用途で使われますと、事故の原因になることがあります。●床面が防水処理・廃水処理されているか確認してください。水漏れが起きた場合、大きな被害につながる恐れがあります。

愛情点検

★長年ご使用のポンプの点検を★

このような症状はありませんか

●運転するとブレーカーや漏電遮断器が動作する●ポンプは運転するが、水栓を開いても水が出ない。●水を使用していないのに、ポンプが運転する。●コード類に“ひび割れ”や“傷”がある。●運転中に異常な音や振動がする。●水漏れがする。（ポンプヘッド部、圧力タンク、継ぎ手など）●焦げ臭い“におい”がする。●触れるとピリピリと電気を感じる。●その他の異常がある。

●このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜いて、または電源を切ってから必ず販売店に点検・修理を御相談ください。

［保証書に関するお願い］●商品には保証書を添付しております。ご購入の際は、必ず保証書をお受取りの上、保管ください。尚、店名、ご購入年月日の記載のないものは無効となります。
●商品の補修用性能部品の保有年数は、製造打切り後８年です。
［その他付記事項］●製品の定格およびデザインは改善等のため予告なく変更する場合があります。●製品の色は印刷物ですので実際の色と多少異なります。

KPS
ケーピーエス工業株式会社
〒619-0238　京都府相楽郡精華町精華台9丁目1番3
TEL 050-3537-8808(代)
URL　http://www.kps-k.co.jp/

据付説明書　販売店（工事店）様用　8ページ～裏表紙

● 据えつけはお買い上げの販売店または工事店に依頼してください。
※ ご自分で据えつけ工事をされ、不備があると水漏れや感電、火災の原因になります。

工事をされるかたへのお願い

※ 工事の前に、この「工事をされる方へのお願い」をよくお読みのうえ、正しく据えつけてください。
※ ここに示した注意事項は、商品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」・「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

⚠注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

絵表示の例

△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。

分解禁止

⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

プラグを抜く

●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠ 警　告

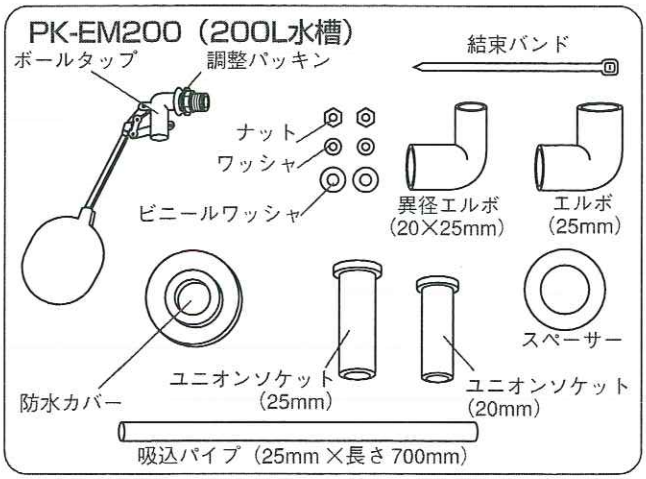
強制 配線工事は、電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行ってください。	誤った配線工事は、感電や火災の恐れがあります。
分解禁止 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。	発火したり、異常動作してけがをすることがあります。
プラグを抜く ポンプ設置の際は必ず電源プラグをコンセントから抜くか、または電源を切ってください。	感電やけがをすることがあります。
プラグを抜く お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜くか、または電源を切ってください。 また、ぬれた手で抜き差ししないでください。	感電やけがをすることがあります。
アース線を接続する アース線を確実に取りつけ、専用の漏電遮断器を設置してください。	故障や漏電のときに感電する恐れがあります。
禁止 工事後、ポンプカバー（保護カバー）は必ずかぶせてください。	ほこりや絶縁劣化などで感電や火災の恐れがあります。
強制 電源プラグは、刃および刃の取りつけ面にほこりが付着している場合はよく拭いてください。	火災の原因になります。
プラグを抜く 動かなくなったり、異常がある場合は、事故防止のため、すぐに電源プラグを抜くか、または電源を切ってお買い上げの販売店に必ず点検・修理をご依頼ください。	感電や漏電・ショートなどによる火災の恐れがあります。
禁止 電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりしないでください。	電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
禁止 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。	火災・感電の原因になります。

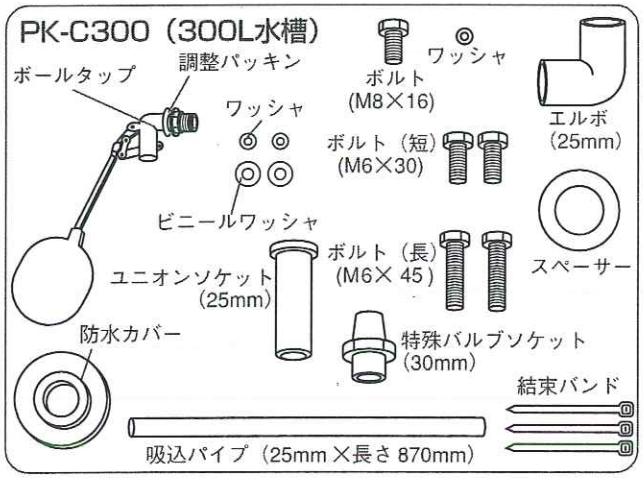
⚠ 注　意

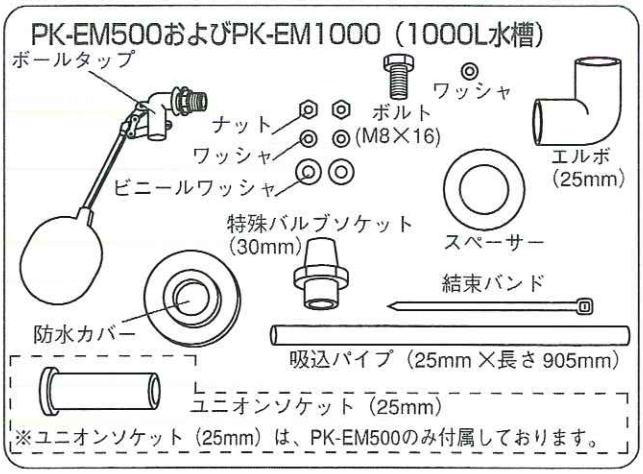
プラグを抜く 長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、または電源を切ってください。	絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。
禁止 空運転（ポンプに水のない状態での運転）はしないでください。（ご使用方法5ページを参照ください。）	ポンプの故障の原因になります。
禁止 ポンプに毛布や布などをかぶせたり、ポンプカバー（保護カバー）内に燃えやすいものを入れないでください。	過熱して発火したり、故障の原因になります。
接触禁止 ポンプやモータに触れないでください。また通電時は保温用ヒータには触れないでください。	高温になっていますのでやけどの原因になります。
強制 床面が防水処理・排水処理されているか確認してください。	水漏れが起きた場合、大きな被害につながる恐れがあります。
禁止 製品の上に物を載せたり、人が乗ったりしないでください。	変形、破損によりけがをする恐れがあります。
禁止 このポンプは水以外の液体には使用しないでください。	特に灯油などは爆発の恐れがあります。

付属部品

●お買い上げの水槽に応じて、付属部品の確認を行ってください。





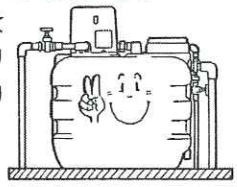


据えつけ工事について

1 基礎は水平でしっかりしたものをご使用ください。

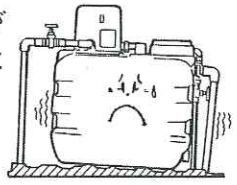
① 水槽は必ず水平に据付けてください。

傾斜していますと溢水口より水があふれたり、断水リレーが正常に働かなくなります。



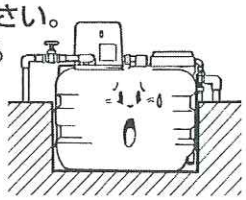
② 据付基礎は凸凹がなく丈夫に造ってください。

基礎が弱かったり、凸凹があると水槽が破損することがあります。



③ 水槽は埋設しないでください。

土圧により水槽が破損することがあります。



2 据え付けには、点検・修理のできるスペースを設けてください。

3 凍結防止には１４ページ「凍結防止について」の項をご参照のうえ必ず行ってください。

据えつけ手順

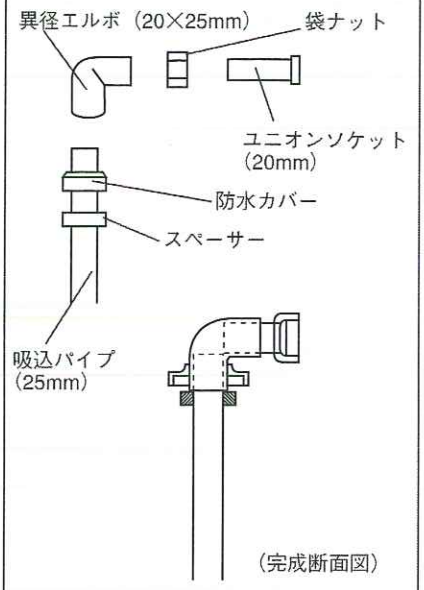
ご注意　据えつけ手順は、コンパクトポンプ（P-EC125、P-EC200、P-EC400、P-EC400 2、P-EC600 2）を水槽に取りつけするための説明を行っています。

1.吸込管の組み立て

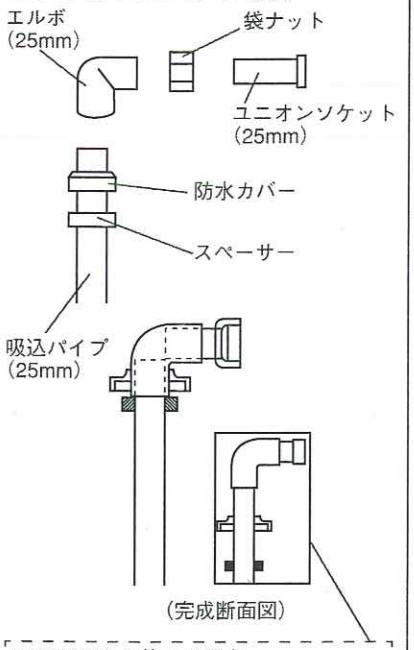
ご注意　袋ナットまたはフランジはポンプのものを使用してください。

● ご使用されるポンプに応じて吸込管の組み立てを行ってください。

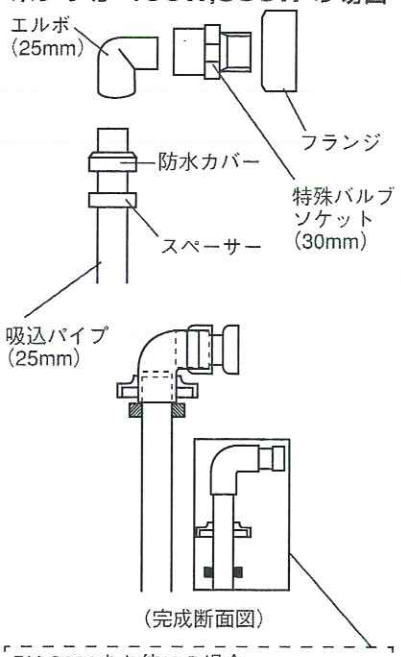
ポンプが 125W の場合



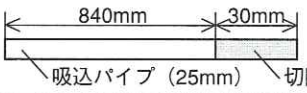
ポンプが 200W の場合



ポンプが 400W,600W の場合



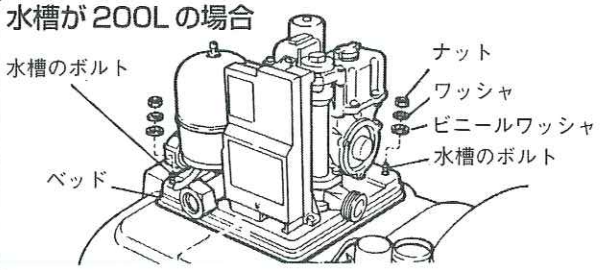
ご注意　300L 水槽とコンパクトポンプをセットでお使いの場合のみ、吸込パイプの全長が 840mm になるよう、パイプを 30mm 切断してください。



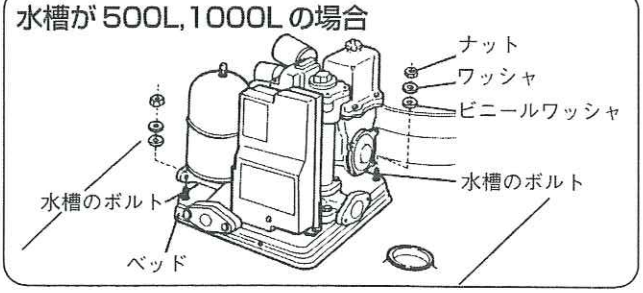
2.ポンプの水槽への取りつけ

● ご使用される水槽に応じてポンプを水槽に取りつけてください。

水槽が 200L の場合

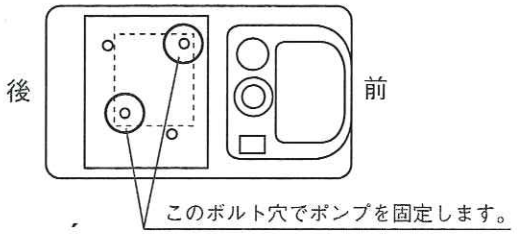


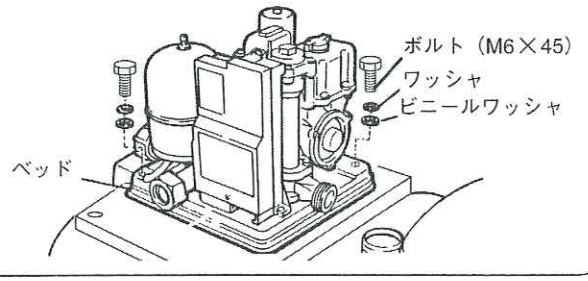
水槽が 500L,1000L の場合



水槽が 300L の場合

（水槽を上から見た図）



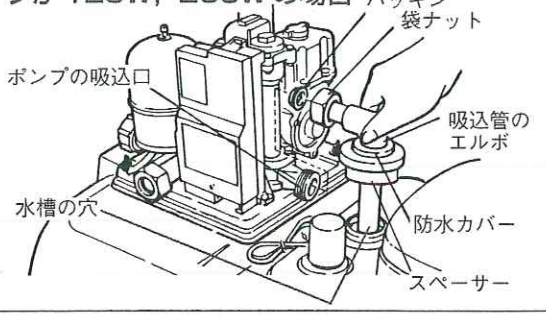


据えつけ手順

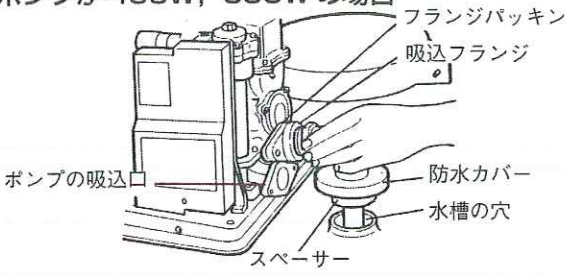
3.吸込管の水槽およびポンプへの取りつけ

● 前項で組み立てて頂いた吸込管を水槽の穴に挿入し、パッキンと一緒にポンプの吸込口に取りつけてください。※水槽の穴をふさぐようにスペーサーの位置を調整してください。

ポンプが125W，200Wの場合

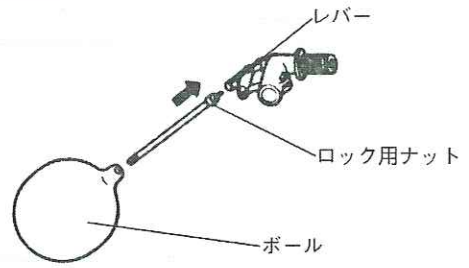


ポンプが400W，600Wの場合



4.ボールタップの組み立ておよび水槽への取りつけ

1.ボールタップは分解した状態で付属の部品箱に入っていますので、組み立ててください。

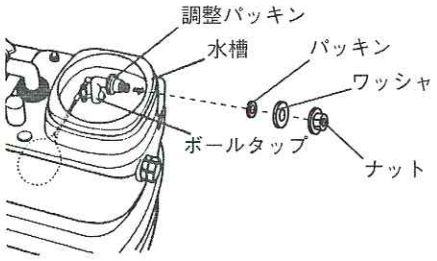


ご注意

● 必ずレバー側にロック用ナットがくるようにネジ込んでください。

● ネジ込み後、ロック用ナットを締めつけ、ゆるみを防いでください。

2.水槽の掃除口フタを開け、ボールタップを水槽に取りつけてください。



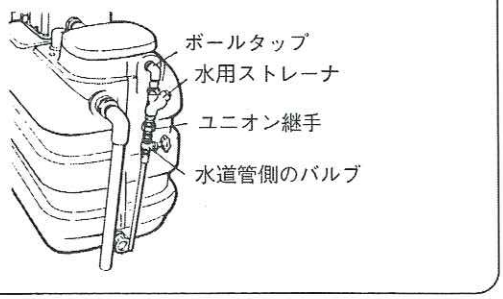
（図はPK-EM200です。）

ご注意

● 200L、300L水槽をお使いの場合のみ、付属の調整パッキンを必ず取りつけてください。

5.水道管の水槽への配管について

● 水道管を水槽のボールタップに配管してください。



（図はPK-EM200です。）

● 水道管とボールタップの配管にはバルブを設け、ユニオン継手をご使用ください。
お手入れ時や保守点検時に必要です。

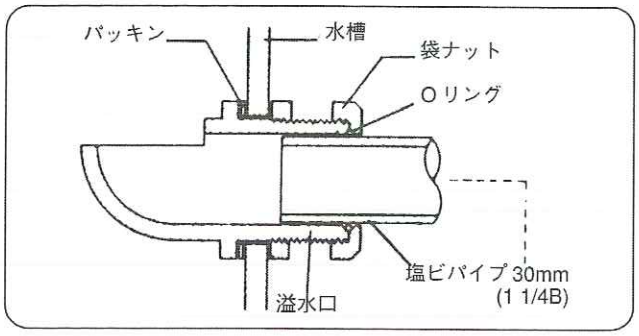
● ボールタップのゴミかみ防止のため、水用ストレーナの取りつけをおすすめします。

据えつけ手順

6.溢水管の配管について

● 溢水管には、市販の塩ビパイプ30mm（1 1/4B）に付属の袋ナットおよびOリングを挿入し、袋ナットを締めつけて固定できます。

塩ビパイプ30mm（1 1/4B）を固定した後、配管を行ってください。



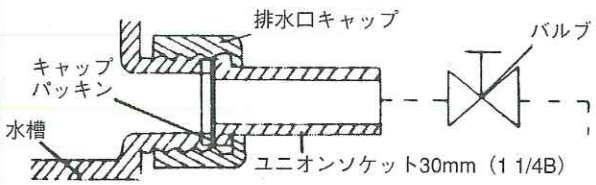
ご注意

● 袋ナットおよびOリングは水槽に取りつけた状態で工場出荷しております。

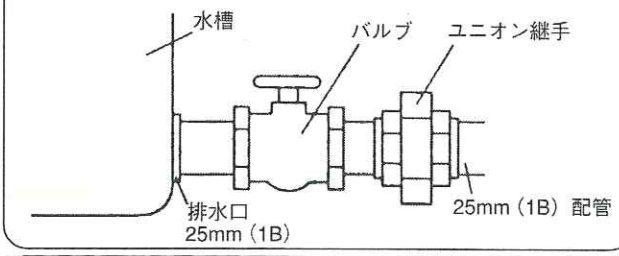
7.排水管の配管について

● 水槽の排水口キャップを取りはずし、ご使用される水槽に応じて排水管の配管を行ってください。

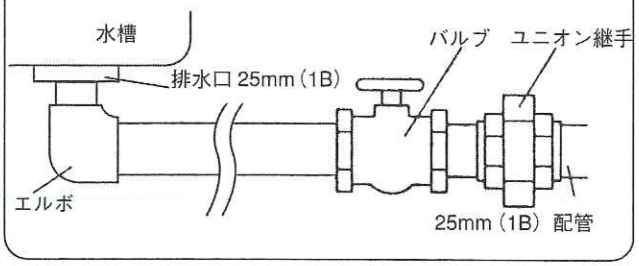
水槽が200L，300Lの場合



水槽が500Lの場合



水槽が1000Lの場合



● PK-EM200、PK-C300の場合は、市販のユニオンソケット30mm（1 1/4B）に取りはずした排水口キャップを挿入し、排水口キャップを締めつけて固定してください。

● 排水管にはバルブを設け、ユニオン継手をご使用ください。お手入れ時や、保守点検時に必要です。

据えつけ手順

8.断水リレーの結線について

1. 断水リレーリード線の取りまわし、および固定は、ご使用される水槽およびポンプによって異なります。ポンプのポンプカバー固定ビスをゆるめ、ポンプカバーを取りはずした後、下図に従って結線を行ってください。

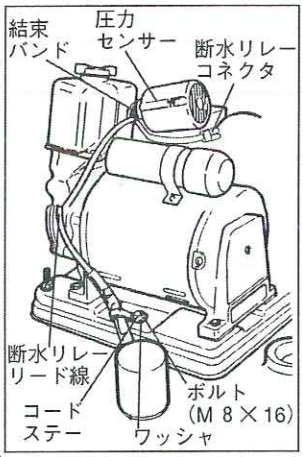
ご注意　裏表紙の『水槽とポンプの組み合わせ一覧表』をご覧になり、ご使用の水道加圧装置の品番確認を行って、正しく結線を行ってください。

水槽が200L、500L、1000L

ポンプが125W、200Wの場合

1. 断水リレーリード線を制御ボックスの後に通してください。
2. 結束バンドで断水リレーリード線をポンプの吸込口に固定してください。

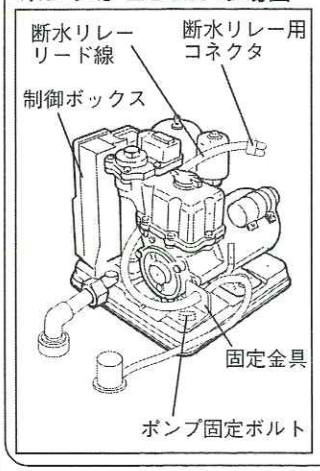
ポンプが400W、600Wの場合



1. 断水リレーリード線に取りついているコードステーを付属のボルト、ワッシャで取りつけてください。
2. 断水リレーリード線がモータ上部を通るように結線し、結束バンドで圧力センサーに固定してください。

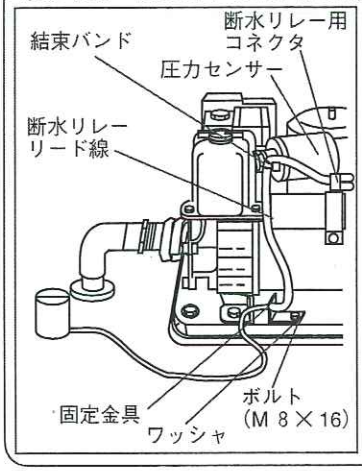
水槽が300L

ポンプが200Wの場合



1. ポンプを固定しているボルトをゆるめ、断水リレーリード線に取りついている固定金具をはさみ込み、ボルトで固定してください。
2. 断水リレーリード線を制御ボックスの後に通してください。

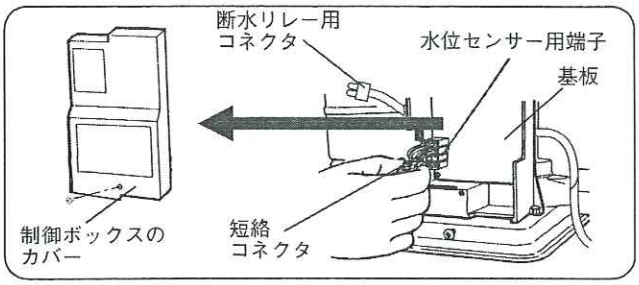
ポンプが400W、600Wの場合

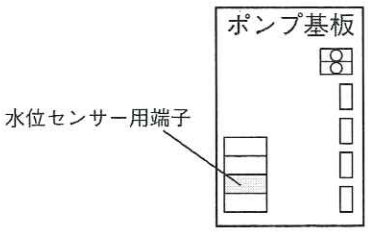


1. 断水リレーリード線に取りついている固定金具を付属のボルト、ワッシャで取りつけてください。
2. 断水リレーリード線がモータ上部を通るように結線し、結束バンドで圧力センサーに固定してください。

2. ポンプの制御ボックスカバーを取りはずしてください。

基板の水位センサー用端子部の短絡コネクタを取りはずし、水槽の断水リレー用コネクタを差し込んでください。

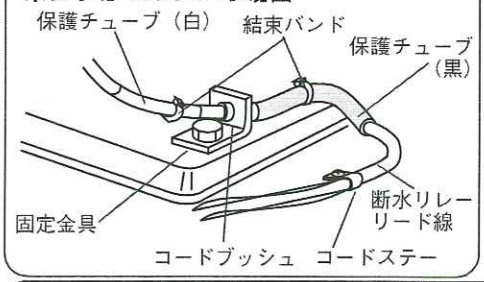




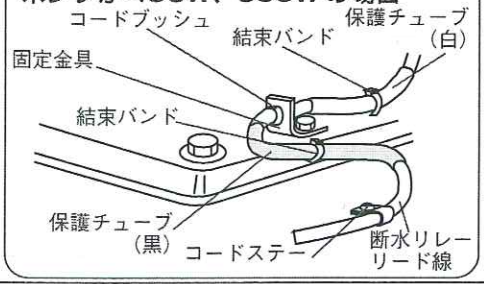
据えつけ手順

3. 断水リレーリード線の固定を行ってください。（300L水槽の場合のみ）

ポンプが200Wの場合



ポンプが400W、600Wの場合



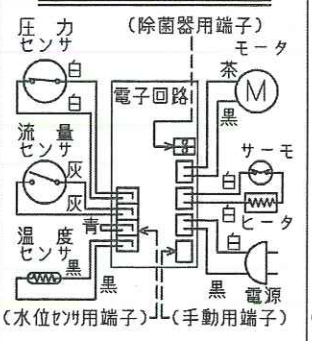
1. コードブッシュを固定金具に固定してください。
2. 保護チューブ（各2本）を結束バンドで固定してください。
3. 断水リレーリード線を水槽のベッドに取りつけてあるコードステーに固定してください。

ご注意
- 保護チューブ（白）は、断水リレーリード線がモータ表面に触れる部分を保護するように固定してください。
- 保護チューブ（黒）は、断水リレーリード線がポンプカバーの出入口切りかきに触れる部分を保護するように固定してください。

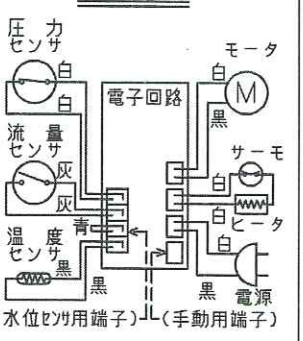
4.制御ボックスのカバー、ポンプカバーを取りつけてください。

配線図（ポンプ制御ボックス内）

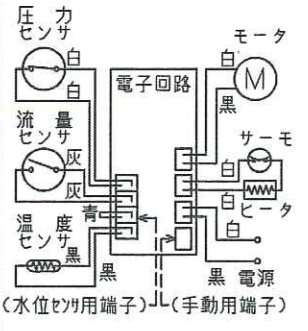
P−EC125,P−EC200



P−EC400



P−EC400 2,P−EC600 2



アース線の接続について

アース線を接続する

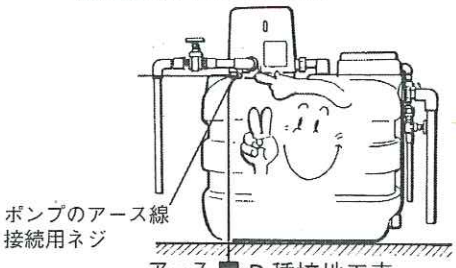
アース線を確実に取りつけ、専用の漏電遮断器を設置してください。

※故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

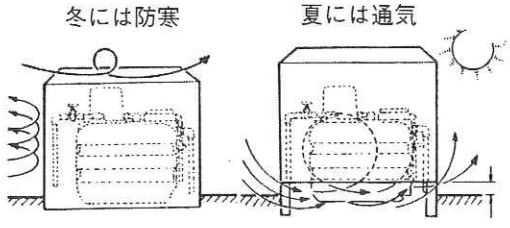
ポンプのアース接続用ネジにアース線を取りつけてください。

次のようなところはアース線を接続しないでください。

1. 水道管…配管の途中が塩化ビニール管の場合はアースされません。
2. ガス管…爆発や引火の危険があります。
3. 電話線のアースや避雷針…落雷のとき大きな電流が流れて危険です。
4. D種接地工事をしてください。
（接地抵抗100Ω以下）



凍結防止について



①ポンプの保温

ポンプ本体には気温が5℃以下になるとマイコンが作動し、ポンプを自動的に保温する凍結防止装置を内蔵しています。屋外に据えつける場合や外気温が特に低い（無風時−10℃以下）地方では、この凍結防止機構だけでは効果が不十分ですので、小屋をつくり内側に断熱材を貼り保温します。なお夏は温度が上がりますので、通気できるようにしてください。

②配管の保温

横引配管は、できるだけ地中に埋め、やむをえず露出する部分はすべて断熱材を巻いて保温してください。

仕様

品番	PK-EM200	PK-C300	PK-EM500	PK-EM1000
材質	耐衝撃性ポリエチレン	ポリエチレン	FRP強化プラスチック	FRP強化プラスチック
貯水量	200L	300L	500L	1000L
ボールタップ	兼工業製SH13(13A)	兼工業製SH13(13A)	兼工業製SH20(20A)	兼工業製SH20(20A)
断水リレー	フロート式	フロート式	フロート式	フロート式
給水管（水道管）	13mm（1/2B）	13mm（1/2B）	20mm（3/4B）	20mm（3/4B）
溢水管	30mm（1 1/4B）	30mm（1 1/4B）	30mm（1 1/4B）	30mm（1 1/4B）
排水管	30mm（1 1/4B）	30mm（1 1/4B）	25mm（1B）	25mm（1B）
外形寸法	870X520X809mm	950X590X937mm	870X520X809mm	950X590X940mm
質量	18kg	33kg	27kg	76kg

※ PK-EM1000のみ架台を含む。

- 付属部品については９ページの付属部品の項をご覧になって、ご確認ください。
- 送水管径およびポンプの仕様については、ポンプに付属の取扱説明書（据付説明書）をご覧になってください。

水槽とポンプの組み合わせ一覧表

お使いになる水槽とポンプの組み合わせにより、水道加圧装置の品番が決まります。
下記一覧表をご覧になり、お使いになる水道加圧装置の品番をご確認ください。

水槽品番(貯水量) / ポンプ品番	200L水槽	300L水槽	500L水槽	1000L水槽
	PK-EM200	PK-C300	PK-EM500	PK-EM1000
P-EC125	PK-EC2125	――	――	――
P-EC200	PK-EC2200	PK-EC3200	PK-EC5200	――
P-EC400	――	PK-EC3400	PK-EC5400	PK-EC10400
P-EC400 2	――	PK-EC3400 2	PK-EC5400 2	PK-EC10400 2
P-EC600 2	――	PK-EC3600 2	PK-EC5600 2	PK-EC10600 2

お客様への引渡し

1. お客様に水槽およびポンプ（水道加圧装置）の取り扱いと取扱説明書の注意事項や日常の点検、お手入れ方法など、現品で具体的に説明してください。
2. 寒冷地での凍結防止対策は具体的に説明してください。
3. 長期間お使いいただくためには、定期点検が必要なことをご説明のうえ、点検の相談や使用上の質問などに適切に対応してください。
4. 保証書に所定事項をご記入のうえ、この説明書とともにお客様にお渡しください。